

東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム

東京 2020 オリンピック・パラリンピック能楽祭

～喜びを明日へ～



2020 OLYMPIC & PARALYMPIC

2021. 7.27 (火)、7.28 (水)、7.29 (木)、8.2 (月)、8.3 (火)

13 時開演 / 国立能楽堂



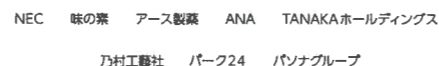
Tokyo 2020 NIPPON Festival Official Partners



Tokyo 2020 NIPPON Festival Supporting Partners



Tokyo 2020 NIPPON Festival Associating Partners



公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

■日程 2021年7月27日(火)、28日(水)、29日(木)、8月2日(月)、3日(火)

■開演 全日程 13:00 (開場 12:00)

■会場 国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1 TEL: 03-3423-1331

■入場料 【全席指定】 [7/27・28・29・8/2] S席 10,000円 / A席 7,000円 / B席 4,000円
[8/3] S席 12,000円 / A席 8,000円 / B席 5,000円

■チケットお申込 (ネット販売あり)

・カンフェティ 0120-240-540 (有人対応) [平日 10:00-18:00]

・チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 506-786] / セブン-イレブン全国各店舗

・本公演特設サイト <https://www.nohgaku.or.jp/tokyonohfes>

※ 能楽協会では、チケット販売をしておりません。上記取扱所にてお買い求めください。

※ お受取り・お支払い方法によって、別途手数料がかかる場合がございます。

※ 座席は、政府・都の要請に基づき、収容率・販売数を制限する場合がございます。



特設サイト

前売りチケット販売期間

6月10日(木)～7月25日(日)

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

キャッシュバックのご案内

学生割 (26歳以下)・障害者割 2,020円

当日会場にて、以下の方々へキャッシュバックいたします。

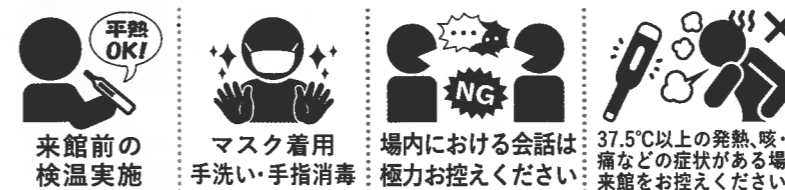
- 学生証又は障害者手帳をお持ちの方で、当日会場に来られた方に限ります。
- 当日、証明書等をご持参下さい。受付は、会場入口付近となります。
- 全公演、全席種で適用いたします。
- 証明書等をお持ちにならなかった方へは、キャッシュバックはいたしません。
- チケット1枚に対するキャッシュバック料金です。

■ご観覧にあたって

- ・上演中の撮影・録音・録画は固くお断りいたします。
- ・上演中はアラーム及び携帯電話の電源はお切りください。
- ・未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- ・開場前のご来館につきましては、能楽堂館外にてお待ちいただきます。
- ・出演者は都合により変更させていただく場合がございます。
- ・当日は主催者による撮影をいたします。撮影したものは今後の広報・配信等に活用する場合がございます。
- ・関係者・メディアの撮影が入る可能性があります。客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがありますので予めご了承ください。

■感染防止対策にご協力ください

【新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください】



※ 館内での持ち込みの食事はご遠慮ください。

※ 今後の状況により、公演が中止又は延期となる場合があります。

※ 舞台進行、演出が常とは異なる場合があります。

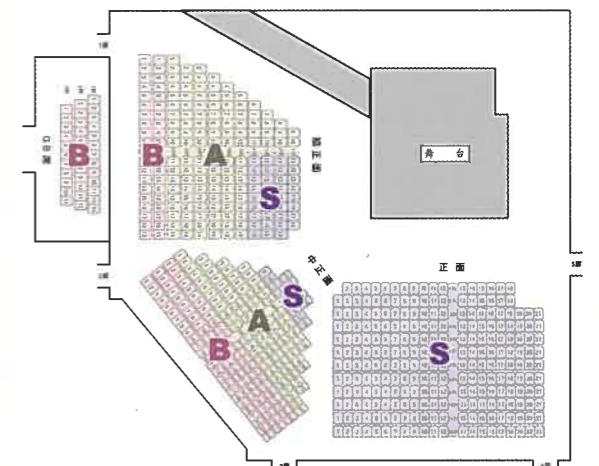
お問合せ 公益社団法人能楽協会

TEL 03-5925-3871 <https://www.nohgaku.or.jp/>

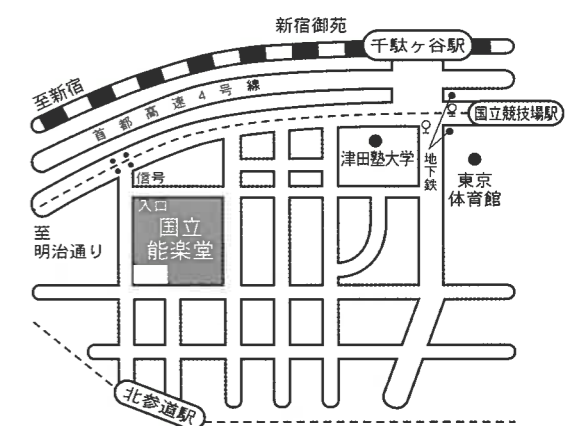
【主催】 公益社団法人能楽協会、一般社団法人日本能楽会、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

【共催】 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

【特別協力】 富士通株式会社、読売新聞社、KNT-CTホールディングス株式会社



■国立能楽堂アクセス



- ・JR中央線・総武線「千駄ヶ谷駅」下車徒歩5分
 - ・都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」下車徒歩5分
 - ・東京メトロ副都心線「北参道駅」下車徒歩7分
- ※ 駐車場はございません。



令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト



東京 2020 オリンピック・パラリンピック 能楽祭

～喜びを明日へ～

700年間、絶えることなく文化を紡いできた能楽。
このコロナ禍においても、明日を見据え、
豊かな心を未来へつなぐためには文化芸術が必要です。
今を生きる多くの方々に向けて、最高の能楽公演をお届けします。

【第一日】
◎七月二十七日（火）

能「翁 十二月往来 父尉延命冠者」

翁・父尉 金春 憲和
翁 高橋 忍
翁 金春 飛翔
三番三 茂山千五郎
千歳延命冠者 茂山忠三郎
笛 藤田 貴寛
小鼓 幸 正昭
小鼓 後藤嘉津幸
小鼓 船戸 昭弘
大鼓 安福 光雄
主後見 金春 安明
地頭 本田 光洋

一調「高砂」

謡 金春 安明
太鼓 金春惣右衛門

狂言「二人袴」

シテ 野村 萬
アド 野村 万禄
アド 能村 晶人
アド 野村万之丞

「翁」

「能にして能にあらず」と言われ、
最も神聖視される祝言曲。
本公演の幕開きに相応しく、
祈りと未来への願いを込める。

【第二日】
◎七月二十八日（水）

仕舞「井筒」

野村 幻雪

仕舞「藤戸」

観世鏡之丞

狂言「武悪」

シテ 山本東次郎
アド 山本 則重
アド 山本 凛太郎

能「屋島 大事 奈須與市語」

シテ 観世 清和
ツレ 観世三郎太
ワキ 宝生 欣哉
ワキツレ 則久 英志
ワキツレ 大日方 寛
アイ 野村 万蔵
笛 杉 信太郎
小鼓 大倉源次郎
大鼓 亀井 忠雄
主後見 野村 幻雪
地頭 観世鏡之丞

「屋島」

世阿弥作の修羅能の名作。
源義経の勇猛な戦いの様子を
描きつつ、情景が際立つ構成。
戦いのなかで生きる人間の姿が、
今を生きる我々の心に迫る。

【第三日】

◎七月二十九日（木）

仕舞「鷲」

福王茂十郎

狂言「業平餅」

シテ 大藏彌太郎
アド 大藏 章照
アド 大藏 基誠
アド 大藏吉次郎
アド 善竹 十郎
アド 大藏 教義

一調「勸進帳」

謡 大槻 文藏
大鼓 柿原 崇志

能「杜若 沢辺之舞」

シテ 宝生 和英
ワキ 宝生 欣哉
笛 一噌 庸二
小鼓 観世新九郎
大鼓 亀井 広忠
太鼓 三島元太郎
主後見 亀井 保雄
地頭 武田 孝史

「杜若」

杜若の表す初夏の爽やかな季節感
のなか「伊勢物語」の世界が描かれる。
日本の言葉のもつ美しさが
自然の情景と結びつき、幻想的な
世界へと誘う。

【第四日】

◎八月二日（月）

一調「笠之段」

謡 梅若 実
小鼓 曾和 正博

狂言「鎌腹」

シテ 三宅 右矩
アド 三宅 右近
アド 三宅 近成

能「三輪 神遊」

シテ 友枝 昭世
ワキ 森 常好
アイ 山本泰太郎
アイ 松田 弘之
笛 鶴澤洋太郎
小鼓 國川 純
大鼓 小寺真佐人
太鼓 塩津 哲生
主後見 香川 靖嗣
地頭

「三輪」

古代神話の幻想的な雰囲気
舞台上に満ちる。
神と人、古からつながる精神性は、
現代にも通じている。
自身のこころと向き合うひと時を。

【第五日】

◎八月三日（火）

仕舞「玉之段」

金剛 永謹

狂言「舟渡智」

シテ 野村 万作
アド 野村 裕基
アド 石田 幸雄

能「道成寺」

シテ 金剛 龍謹
ワキ 福王 和幸
ワキツレ 村瀬 提
ワキツレ 矢野 昌平
アイ 野村 萬斎
アイ 野村太一郎
笛 竹市 学
小鼓 林 吉兵衛
大鼓 大倉慶乃助
太鼓 小寺 佐七
主後見 廣田 幸稔
地頭 今井 清隆
鐘後見 金剛 永謹

「道成寺」

桜舞い散る美しい情景と対比する
ように描かれる女の情念が、心に
迫る能屈指の大曲。
五感を研ぎ澄ませることで、心ゆく
まで能楽の神髄を堪能できる。



道成寺



三輪 神遊

撮影 東條睦子



杜若 沢辺之舞

©能楽協会



屋島 大事 奈須與市語

撮影 前島吉裕



翁 十二月往来 父尉延命冠者

撮影 辻井清一郎